

ツインパディート箱粒剤（シアントラニリプロール・イソチアニル粒剤）

適用病害虫と使用方法

2021年11月24日現在

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアントラニリプロールを含む農薬の総使用回数	イソチアニルを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 イネヌズウムシ イネトコイムシ	1kg/10a	移植時	1回	側条施用	1回	3回以内（但し、直播での場合は種時又は移植時までの処理は1回以内、本田では2回以内）
稲(箱育苗)	いもち病 白葉枯病 内穎褐変病 穂枯れ（ごま葉枯病菌） もみ枯細菌病 イコ類 ヒメビウカ イネヌズウムシ イネトコイムシ イネハモグリバエ コブノメイガ ニカメイチュウ フタホトコヤガ ツマゲロコバエ イネツトムシ	育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5L）1箱当り50g 高密度には種する場合は1kg/10a（育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5L）1箱当り50～100g）	は種時（覆土前）～移植当日		育苗箱の上から均一に散布する		3回以内（但し、移植時までの処理は1回以内、本田では2回以内）

ツインパディート箱粒剤（シアントラニリプロール・イソチアニル粒剤）

適用病害虫と使用方法

2021年11月24日現在

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアントラニリプロールを含む農薬の総使用回数	イソチアニルを含む農薬の総使用回数
稲(箱育苗)	いもち病 白葉枯病 内穎褐変病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) もみ枯細菌病 イゴ類 ヒメビウカ イネズゾウムシ イネトオオムシ イネヒメハモグリバエ コブノメイガ ニカメイチュウ フタオビコヤガ ツマグロヨコバエ イネツトムシ	高密度には種する場合は1kg/10a(育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5L)1箱当り50~100g)	は種時(覆土前)~移植当日	1回	育苗箱の上から均一に散布する	1回	3回以内(但し、移植時までの処理は1回以内、本田では2回以内)
	いもち病 白葉枯病 内穎褐変病 苗立枯細菌病 苗腐敗症(もみ枯細菌病菌) 穂枯れ(ごま葉枯病菌) もみ枯細菌病 イゴ類 ヒメビウカ イネズゾウムシ イネトオオムシ イネヒメハモグリバエ コブノメイガ ニカメイチュウ フタオビコヤガ ツマグロヨコバエ イネツトムシ	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5L)1箱当り50g 高密度には種する場合は1kg/10a(育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5L)1箱当り50~100g)	は種前		育苗箱の床土又は覆土に均一に混和する		

ツインパディート箱粒剤（シアントラニリプロール・イソチアニル粒剤）

適用病害虫と使用方法

2021年11月24日現在

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアントラニリプロールを含む農薬の総使用回数	イソチアニルを含む農薬の総使用回数
稲(箱育苗)	いもち病 白葉枯病 内穎褐変病 苗立枯細菌病 苗腐敗症（もみ枯細菌病菌） 穂枯れ（ごま葉枯病菌） もみ枯細菌病 イゴ類 ヒメビウカ イネミソウムシ イネノコイムシ イネハモクシバエ コブノメイガ ニカメイチュウ フタホビコヤガ ツマグロヨコバエ イネツトムシ	高密度には種する場合は1kg/10a（育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5L）1箱当り50～100g）	は種前	1回	育苗箱の床土又は覆土に均一に混和する	1回	3回以内（但し、移植時までの処理は1回以内、本田では2回以内）
	苗立枯細菌病 苗腐敗症（もみ枯細菌病菌）	育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5L）1箱当り50g	は種時（覆土前）		育苗箱の上から均一に散布する		
		高密度には種する場合は1kg/10a（育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5L）1箱当り50～100g）					

ツインパディート箱粒剤（シアントラニリプロール・イソチアニル粒剤）

適用病害虫と使用方法

2021年11月24日現在

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアントラニリプロールを含む農薬の総使用回数	イソチアニルを含む農薬の総使用回数
稲(箱育苗)	苗立枯細菌病 苗腐敗症（もみ枯細菌病菌）	高密度には種する場合は1kg/10a（育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5L）1箱当り50～100g）	は種時（覆土前）	1回	育苗箱の上から均一に散布する	1回	3回以内（但し、移植時までの処理は1回以内、本田では2回以内）